

支援の思いを忘れない

東日本大震災復興支援定期「サポートV」報告会
感謝と希望のつどい

東日本大震災から8年
ありがとう。そしてこれから

第一部 サポートV報告 + 平成30年7月豪雨災害報告



一般財団法人 あしなが育英会
東北レインボーハウス
所長 西田正弘さん
(宮城県仙台市)



NPO法人 輝きの
のんびりハウス どじょう
所長 秋元博光さん
(福島県双葉郡川内村)



NPO法人 ふよう土2100
理事長 大澤康泰さん
(福島県郡山市)



NPO法人
岡山マインド「こころ」
代表理事 多田伸志さん
(岡山県倉敷市)

第二部 パネルトーク 福島はいま



NPO法人
さぼーとセンターぴあ
代表理事 青田由幸さん
(福島県南相馬市)

課題提起

NPO法人 さぼーとセンターぴあ
代表理事 青田由幸さん

パネラー

NPO法人 輝き
のんびりハウス どじょう
所長 秋元博光さん

NPO法人 ふよう土2100
理事長 大澤康泰さん

2019年

10月5日(土)

13時から15時40分

(開場12時30分より)

@近畿ろうきん
メインホール

大阪市西区江戸堀1-12-1
ろうきん肥後橋ビル12F

資料代500円(定員200名)

※手話通訳あり

※事前にお申込みください。

共催：認定NPO法人ゆめ風基金、一般財団法人あしなが育英会
近畿労働金庫

認定NPO法人ゆめ風基金

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-13-43-106
TEL 06-6324-7702 FAX 06-6321-5662
Email: info@yumekazek.com



はたらくあなたへ 笑顔を届けに
近畿ろうきん

お申込み

支援の思いを忘れない

東日本大震災復興支援定期「サポートV」報告会
感謝と希望のつどい

東日本大震災から8年
ありがとう。そしてこれから

「サポートV」とは

東日本大震災以降、2011年6月から2012年3月まで取り組んだ東日本大震災復興支援定期「サポートV」は、被災地の震災遺児支援を行っている「あしなが育英会」と、被災障がい者の支援を行っている「ゆめ風基金」へ、当金庫から10年間にわたって寄付を行う社会貢献預金です。これまで8年間で1億4,050万円の寄付金を届け、10年間では1億5,610万円を見込んでいます。

わたしたちは忘れない

福島はいま・・・

NPO法人 さぼーとセンターぴあ

青田 由幸（あおた よしゆき）さん
妻、次女（重度障がい者）とともに仙台市中。65才。
震災後は母親の介護のため単身南相馬市中。
障害福祉サービスとして生活介護、就労支援B、相談支援の事業を運営している。震災直後、全国の市町村で唯一個人情報開示のもと、南相馬市内に取り残された障害者の安否確認、生活支援を行った。

被災地からの報告

一般財団法人 あしなが育英会 西田 正弘（にしだ まさひろ）さん
1960年福岡県生まれ。12歳のとき交通事故で父親を亡くす。あしなが奨学金を利用して進学、國學院大学文学部卒業。2006年から「あしながレインボーハウス」チーフディレクターを務め、病気や事故、自死、犯罪被害などで親と死別した小中学生と保護者のグリーフ・サポートに取り組む。2015年から東北事務所長を務める。今年度から心のケア事業部長・東北レインボーハウス所長に就任。共著書に『死別を体験した子どもによりそー沈黙と「あのね」の間で』（梨の木舎 2013）

NPO法人 輝き 秋元 博光（あきもとひろみつ）さん
1993年生まれ。福島県川内村出身。2017年4月、もともと運営をされていたNPO法人JIN（浪江町）から引き継ぐかたちで現在のNPO法人輝きを立ち上げた。2018年6月、県からの助成金での運営から、就労継続支援B型へと切り替えた。現在2年目となり11名の利用者という大ききはない施設ながらも、『のんびり、ゆっくり歩いていこう』をスローガンに利用者と共にゆっくり一歩ずつ歩いている。

NPO法人 ふようど 2100 大澤 康泰（おおさわやすひろ）さん
20年間の民間企業勤務を経て、東日本大震災・原発事故を機に2011年7月NPO法人ふようど2100を設立。副理事長を務める。2015年1月相談支援事業所ひかり相談室、放課後等デイサービスがっこを開設。2017年3月にえるーむを開設。2019年1月にコミュニティmano-a-manoをオープン。福島県で被災した障害児家族のサポートを続けている。2017年5月に理事長に就任。現在に至る。

NPO法人 岡山マインド「こころ」 多田 伸志（ただしんじ）さん
1960年広島県尾道市生まれ。長崎大学水産学部卒業。職種は「NPO法人代表理事 何でも屋さん」、1985年に広島県三原市のある地方水産市場へ就職、まぐろを切る。その後、医療法人まきび病院に就職。2002年に同法人を設立し、代表理事に。2011年にまきび病院を退職し、グループホーム事業、地ビール醸造販売事業を開始。2014年、「マインド作業所（精神障害者小規模作業所）」を、2017年には「新マインド作業所（地域活動支援センターⅢ型）」を開設。

2019年10月5日（土）

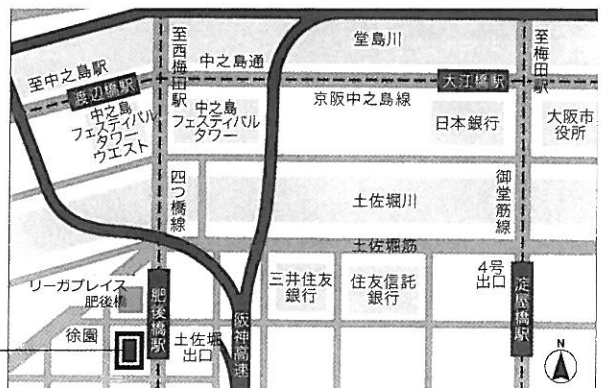
開場12:30 開演13:00

■資料代/500円 ・手話通訳あり 定員200人（先着順）

■お申込み、お問合せは・・・認定NPO法人ゆめ風基金
TEL06-6324-7702/FAX06-6321-5662
メール info@yumekazek.com

近畿ろうきんメインホール

（大阪市西区江戸堀1-12-1ろうきん肥後橋ビル12階）
大阪地下鉄四つ橋線 「肥後橋」駅⑩番出口直結
大阪地下鉄御堂筋線・京阪「淀屋橋」駅、京阪中之島線「渡辺橋」駅



認定NPO法人 ゆめ風基金

1995年、被災障害者の救援を目的に永六輔さん、小室等さんら著名人と障害者、支援者が呼びかけて発足。これまで被災障害者救援金・救援活動費は5億2500万円にのぼります。東日本大震災では、いち早く障害者救援活動を開始、今も障害者の生きる場・働く場の復興を応援しています。「一番困っているところにすばやく届ける」ことをモットーに全国の障害者団体と連携し、緊急時に備えています。また、障害者の立場から「防災提言」を発信しています。

一般財団法人 あしなが育英会

病気や災害、自死（自殺）などで親を亡くした子どもたちや、親が重度障害で働けない家庭の子どもたちを物心両面で支える民間非営利団体です。将来、子どもたちが社会に貢献できる人材になれるよう、奨学金、心のケア、人材育成など、様々な活動を行っています。国などからの補助金・助成金は受けず、すべて寄付金で運営しています。ご寄付の9割以上は個人の方からです。

近畿ろうきん（近畿労働金庫）

ろうきんは、労働組合や生活協同組合などの働く仲間がお互いに助け合うために、資金を出し合っつった協同組織の福祉金融機関です。非営利を原則として、働く人たちの暮らしを支え合い、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的としています。近畿ろうきんは、共生促進事業（NPO・社会福祉法人への融資、地域の非営利・協同セクターとの協働など）を通して、地域の福祉を支えるグッドマネーの循環をめざしています。